

〈論 文〉

スペイン語前置詞句 dentro de の 空間的意味「～先」について⁽¹⁾

長 縄 祐 弥

要 旨

本稿では, dentro de 100 metros 「100 メートル先」という表現における dentro de の空間的意味について考察をおこなう。この前置詞句は dentro de 5 minutos 「5 分後」のように主に時間的意味に使用される表現であるが, この時間的意味のような振る舞いで用いられる空間的意味も存在する。コーパスにおけるこの空間的意味は, 用例数は乏しいものの, 文法的に問題はなく, 容認される。ただし, 時間的意味から空間的意味への拡張という, 通例とは反対の方向に意味拡張がおこなわれる点について考察をおこなう必要があると考えられる。結論として, この前置詞句は発話時を基準としたとき, 空間よりも時間のほうが必ず「先」を表せる点で時間的意味として用いられやすいことを確認した。これに加え, 発話時の地点から終点まで断続的に移動することを含意する必要がある空間的意味は時間的意味に比べ, 文脈が限定されるため, 時間的意味から空間的意味へ拡張しているととらえることが可能であるとした。

キーワード: スペイン語学, 空間と時間, 意味論

(1) 本稿は2018年11月25日に関西学院大学梅田サテライトキャンパスにておこなわれた関西スペイン語学研究会第419回例会での口頭発表をもとにしてい
る。例会参加者のみなさまから貴重なコメントおよび質問をいただきましたこ
とを心より感謝申し上げます。

0. はじめに

本稿では、スペイン語の前置詞句 *dentro de* のこれまで提案されてきた空間的意味「～の中に」に加え、「～先」と解釈される文脈も存在することを提示し、その用法について記述をおこなう。そして、その記述をもとに *dentro de* の時間的意味である「～後」との関連を考察し、あらためて *dentro de* の空間的意味と時間的意味の分布を明らかにする。

前置詞句 *dentro de* の空間的意味は(1)のように、概して「～の中」と解釈される一方で、(2)にみられるように「～先」と解釈可能な場合も観察される⁽²⁾。

(1) El balón está **dentro de** la caja.

(2)⁽³⁾ **Dentro de** 100 metros gire a la derecha.

(3) Te llamaré **dentro de** quince minutos.

— RAE y ASALE⁽⁴⁾ (2009: 2267) 太字は筆者による

(2)の用法は(1)の用法と意味的な関連がみられるというよりもむしろ、(3)で用いられる *dentro de* の時間的意味である「～後」にその振る舞いが類似しているため、時間的意味から空間的意味が拡張した用法と考えることが可能である。すなわち、(3)では発話時から15分経った時点

(2) 「100メートル以内」という解釈も考えられると思われるが、*dentro de cinco minutos* が「5分以内」を表すことができないことをふまえると、「100メートル以内」という解釈はできないものと思われる。

(3) 主にカーナビゲーションで出現する表現である。

(4) Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española を指す。以下同様。

において llamar 「電話する」で表された行為が実現される一方, (2) では発話時にいる地点から 100 メートル先の地点において girar 「曲がる」で表された行為が実現されることを表しており, 発話時を起点とした期間と発話時を起点とした移動距離が対応している。

空間的意味から時間的意味への拡張に関して, 例えば Lakoff & Johnson (1980) は TIME IS SPACE 【時間は空間である】⁽⁵⁾ という概念メタファーを提起し, 時間的意味は空間的意味からメタファーを介して拡張していると述べている。このことはスペイン語においても主張されており, Cuenca y Hilferty (1999) は空間を進めば進むほどそれだけ時間が経過するため, 空間と時間の間には明らかな相関関係がみられると主張している。

Lógicamente, para ir desde el punto de partida hasta el punto de llegada, el viajero tiene que recorrer el trayecto. Más aún, existe una clara correlación entre el espacio y el tiempo: progresar en el espacio implica necesariamente progresar en el tiempo. Por consiguiente, cuanto más camino se recorre, más tiempo pasa.

— Cuenca y Hilferty (1999: 138) 筆者により一部変更

しかしながら, この (2) に見られる意味は時間的意味である「～後」から拡張していると考えられ, 空間的意味から時間的意味が拡張するプロセスとは反対の方向に意味拡張がされているように思われる。というのも, dentro de の空間的意味に関して, DRAE をはじめとした辞書には (1) の「内部」の意味は記載されているものの, (2) の「～先」の意味は記載されておらず, (2) の意味に類似していると考えられる (3) の時間的意味「～後」は記載されているためである。そこで, 本稿では dentro de が「～

(5) スペイン語では EL TIEMPO ES ESPACIO。

先」と解釈可能な場合を考察し、そのうえで、これまで提案されてきた dentro de の空間的意味および時間的意味の意味関係を見直す。

1. dentro de の空間的意味と時間的意味

本章では、前置詞句 dentro de の空間的意味および時間的意味に関する先行研究を概観する。副詞 dentro は Pavón Lucero (1999) が指摘するように、de を伴って前置詞句を形成しない場合には時間的意味を有しない。例えば、(4) は発話時から 2 週間後に entregar で表された行為が実現されることが示されているが、(5) のように dentro のみで使用される場合には、時間的意味は失われ、空間的意味として解釈される。すなわち、dentro 単体だけでは「～後に」といった時間的意味ではなく、建物などの「内部で」といった空間的意味で解釈されるのである。

(4) Te lo entregaré **dentro de** dos semanas.

— Pavón Lucero (1999: 603) 太字は筆者による

(5) Te lo entregaré **dentro**.

— Pavón Lucero (1999: 603) 太字は筆者による

続いて、前置詞句 dentro de に関する記述を確認する。まず DRAE は、空間的意味であれば「～の中に」を表す一方で、時間的意味であれば「～後に」を表すと述べており、見出しは時間的意味を先に記載している。このことは dentro de がもつぱら時間的意味で用いられる証拠のひとつになりうるが、この dentro de が有する時間的意味で特徴的なことは、以下の 1 に記述があるように、発話時を基準としてその時点から示された期間を経た後に動詞で表された行為が実現するということである。

1. U. para indicar el término de un período de tiempo visto desde la perspectiva del presente. *Dentro de dos meses.*
2. En el interior de un espacio real o imaginario. *Dentro de un cajón, de una ciudad, del corazón, del alma.*

— DRAE (s.v. dentro)

一方, Salamanca では dentro の意味自体は «En el interior de un lugar o espacio» (Salamanca: s.v. dentro) と表されるものの, 以下の 1 と 2 に示すように前置詞句 dentro de の項には空間的意味に関する記述はなく, 時間的意味のみを有しているような記述がなされている。

1. En la época o periodo de tiempo que se indica
2. En el preciso momento en que se cumple el periodo que se indica

— Salamanca (s.v. dentro)

Salamanca における dentro de の 1 と 2 の時間的意味にあたる日本語の表現はそれぞれ「～中に」, 「～後に」であり, 前者は空間的意味の「～の中に」に対応する。長縄 (2015) では, dentro de の空間的意味が 2 つの時間的意味へどのように拡張しているのか考察したのち, dentro および dentro de の意味分布を表 1 のようにまとめている。

表 1 dentro, dentro de の空間的意味と時間的意味の分布

	日本語にあたる表現	空間的意味	時間的意味
dentro	中に	○ (A)	× (B)
dentro de	～の中に / ～以内に	○ (C)	○ (D)
	～後に	× (E)	○ (F)

— 長縄 (2015: 110) 筆者により一部編集

意味が認められる場合には○を、認められない場合には×を表内に記している。例えば、(B) には×印が付してあるが、これは先に(4)および(5)をあげながら述べたように dentro のみでは時間的意味が表されないためである。その一方で、dentro de については、空間的意味の(C)から時間的意味の(D)と(F)がそれぞれ派生していると考えられる。そして、本稿でとりあげるのは(E)で示されている dentro de の空間的意味であるが、長縄(2015)では、空間的距離や、空間的距離を時間表現で表す用例がコーパスにおいて確認されなかったため、この(E)の意味は表れないと結論づけている。

『(前略) dentro de と数詞が共起する場合にそれに続くのは時間表現がほとんどであることが明らかであり、さらに得られた例文を詳細に観察すると、dos kilómetros のような空間的距離を表す表現と共起する例や時間表現で空間的距離を表す例はなかった。』

— 長縄(2015: 109)

しかしながら、先にあげた(2) Dentro de 100 metros gire a la derecha. は、発話時を起点とした移動距離と発話時を起点とした期間が対応していることを考えると、(F)が(E)へ拡張していると思われる。そこで、本稿ではこの(E)に該当する空間的意味は、(F)の時間的意味から派生していると仮定したうえで考察をおこなう。

2. Real Academia Española とインフォーマントの見解

本章では、Real Academia Española⁽⁶⁾(スペイン王立アカデミー)とイ

(6) 以下 RAE と表す。

ンフォーマント1名の dentro de の空間的意味について対する見解を記す。以下でそれぞれの回答の詳細を記述するが、結論から述べるといずれも容認可能という返答を得た。

2.1. RAE の見解

先行研究だけでは「～先」にあたる dentro de の記述が見当たらなかったため、本研究をおこなうにあたり、RAE に (6) を提示したうえで、dentro de, a, en のいずれがふさわしいかを尋ねた。

(6) [Dentro de / A / En] 100 metros, gire a la derecha.

この問いに対して、dentro de 加えて después de が一般的であるとの回答が得られた⁽⁷⁾。一方、a は誤りではないものの、この文脈においては適切な前置詞であるとは言えず、また en もよく用いられるものの、避けたほうがよいとしている^{(8), (9)}。

この回答により、(6) で提示した選択肢は、許容度は異なるものの規範的にはいずれも容認されることが確認された。しかしながら、DRAE の

(7) RAE のサービスを利用した。

Desde octubre de 2012, el departamento también presta este servicio de atención a consultas lingüísticas a través de la cuenta @RAEinforma en la red social Twitter. Las respuestas que se ofrecen en ese ámbito van siempre encabezadas por la etiqueta #RAEconsultas. (<https://www.rae.es/espanol-al-dia> [最終アクセス日: 2021 年 10 月 16 日])

(8) Lo más normal y recomendable es usar «dentro de» o «después de». El uso de «a» no es incorrecto, pero es poco preciso en este contexto. Aunque también es frecuente el uso de «en», es preferible evitarlo.

(9) これは時間的意味「～後に」を表す dentro de の代わりに en を用いることを避けたほうがよいとしている理由と同等であると思われる。この en の用法については長縄 (2015) で論じているため、本稿では議論しない。

dentro de の記述には時間的意味のみが記載されているため、時間的意味でなくとも（６）のような表現は容認されるのか尋ねた。この問いに対して RAE は、適切な文脈であれば空間的な表現と共起可能であり、（６）のように動いている乗り物に乗っていることが示唆されるような文脈において用いることが可能であると述べている⁽¹⁰⁾。

2.2. インフォーマントの見解

RAE に加え、スペイン出身のインフォーマント 1 名に（６）を提示しながら、同じ質問をおこなったところ、この文はカーナビゲーションで使われる表現であり、dentro de 100 metros および en 100 metros を用いることが可能であるという回答を得た。RAE の回答と同様、乗り物において用いられる表現であるとした。

以上の回答から導きだせるのは、まず dentro de 100 metros は問題なく容認されるということ、そして用いられる文脈は自動車など動いている乗り物に乗っている場合であるということである。しかしながら、この空間的意味が時間的意味から派生しているのかどうかについてははっきりせず、これらの回答だけで判断するのは困難であるが、（２）の dentro de の用法はかなり限られた文脈でしか生じないと思われる。それゆえ、（２）のようなカーナビゲーション上で用いられる以外の用例を収集し、dentro de の空間的意味、すなわち表 1 の（E）を認めるかどうかを考察する必要がある。次章では RAE の回答から得られた、dentro de とそれと交替可能であるとされる a と después de の用法を観察する。

(10) «dentro de» se puede combinar con una expresión espacial en el contexto adecuado, como por ejemplo cuando se va en un vehículo en marcha.

3. dentro de と交替可能とされる表現 — a と después de

本章では空間的意味「～先」を表す dentro de と交替可能であるとされる a および después de の時間的意味について、先行研究の記述をもとに考察する。

3.1. a の時間的意味

はじめに a の時間的意味について確認する。DRAE の a の時間的意味には「物事が生じた場所、あるいは時間を明確にする」とあり、それ以上のことは記載されていない。

6. Precisa el lugar o tiempo en que sucede algo. *Le cogieron a la puerta. Firmaré a la noche.*

— DRAE (s.v. a)

この DRAE に示されている a についてさらなる観察をおこなうと、a は (7) のように 2 点間の距離を表すことが可能である。すなわち、(7) では coche 「車」と mi casa 「わたしの家」との距離が 2 キロメートルであることが示されている。その一方で (8) では、移動手段は書かれていないものの、colegio 「学校」と casa の距離が 10 分であることが表されている。このように、スペイン語では時間の表現を用いることによっても距離を表すことが可能である。

- (7) El coche está a **dos kilómetros** de mi casa

— Cabezas Holgado (2015: 26) 太字は筆者による

- (8) El colegio para nuestro hijo está a **diez minutos** de casa, el

hospital también.

— CREA 太字は筆者による

以上のことをふまえれば, dentro de と a の交替が認められそうであるが, 先に述べたように RAE は dentro de 100 metros を a 100 metros と表すのはあまり好ましくないとしている。これは基準となる時点が dentro de は発話時である一方で, a は発話時以外の一時点であるためと思われる。このことに関して, RAE y ASALE (2009) によれば, 定められる時点は時間の表現によって大きく3つのグループに分類される。すなわち, 発話時を基準とするグループ, 発話時以外のある一時点を基準とするグループ, そしてあらゆる時点を基準とできるグループである。

1. Adjuntos temporales orientados en relación con el momento del habla (ANCLAJE DEÍCTICO)
2. Adjuntos temporales orientados en relación con un punto temporal que no sea el momento del habla (ANCLAJE ANAFÓRICO)
3. Adjuntos temporales orientados en relación con cualquier punto temporal (ANCLAJE VARIABLE)

— RAE y ASALE (2009: 1817)

このうち, dentro de は上記のグループ1に該当する一方で, a はグループ2に該当する。つまり, これらの2つの表現の意味は類似しているように思われるものの, 基準時が異なる。例えば, RAE y ASALE (2009) が述べているように dentro de dos días は発話時から2日後と解釈されるのに対して, a los dos días は発話時以外のある時点から2日後と解釈されるのである。

No equivalen, en consecuencia, *Llárame dentro de dos días* y *Llárame a los dos días*. En la primera oración se habla de dos días transcurridos desde el momento en que se pronuncian esas palabras, mientras que en la segunda se habla de dos días transcurridos después de cierto punto temporal del que solo se sabe que no coincide con el momento del habla.

— RAE y ASALE (2009: 1818)

さらに, (9) の a diez minutos は「10 分後」を表すが, 発話時以外のある時点から10分後を表すことが可能であるため, 過去時制でも用いることが可能である。一方で dentro de は発話時が基準であるため, 共起する動詞は概して現在形あるいは未来形である⁽¹¹⁾。

- (9) El_[sic] salió primero de la habitación y quedamos en encontrarnos en el bar, cuando yo bajé **a los diez minutos** estaba en animada conversación con una dama.

— CREA 太字は筆者による

これを空間的意味にも適用すると, dentro de 100 metros は「発話時にいる地点から 100 メートル先」を表すが, a と交替させると発話時が基準時ではなくなるため, 起点が明示されない。そのため, RAE が a 100

(11) RAE (2009: 1818) によれば, dentro de は, かつては先に示したグループの 3 に属しており, あらゆる時点を基準とすることが可能であった。

Este último grupo preposicional pertenece al grupo 1 en la lengua actual (como en *Llegará dentro de dos días*), pero pertenecía al 3 en el español antiguo, en el que se admitía, además del uso actual, la opción *Llegó dentro de dos días* (en el sentido de ‘... al cabo de dos días’), como se explica en el § 29.6ñ.

metros を好ましくない表現であると述べていると思われる。

3.2. después de の時間的意味

続いて, después de の振る舞いについて観察する。まず, 先の a と同様に DRAE の después de の時間的意味の項目を確認する。

1. Detrás o a continuación. *El ejemplo va después DE la definición.*
2. Más tarde, o con posterioridad. *Te verá después. Después DE amanecer. Después DE que llegue.*
3. Denota posterioridad en el orden, jerarquía o preferencia. *Esquines fue el mejor orador de Grecia después DE Demóstenes.*

— DRAE (s.v. después)

después は副詞として単独で「後で」と表せることが可能であることに加え, de を伴うと以下に不定詞や節を導くことができ, 不定詞や節内で表されている動詞の「行為が完了した後」を表す。また, RAE y ASALE (2009) の記述からも明らかであるように, [時間的意味を有する副詞 + 前置詞] は出来事あるいは時間を表す表現とも共起可能であるが, 時間を表す表現が共起する場合には, 例えば *antes de dos años* であれば *antes de que transcurran dos años* のように動詞が文脈によって補完され, 「(ある時点から) 2 年経過する前に」という意味が表される。

El término de la preposición con la que se construyen muchos adverbios temporales designa un evento (*posteriormente a la boda; luego de su triunfo electoral; previamente a su maternidad*) o un período (*antes de dos años ‘de que transcurran dos años’; después de la primavera*).

— RAE y ASALE (2009: 2320)

このような時間的意味を有する副詞, とりわけ本稿で観察している después de は2つの事物あるいは出来事の順序を明確にする振る舞いをおこなうという点で dentro de と異なる。

先に述べたように, después de 以下に時間を表す表現が共起する場合には「(ある時点から)経過した後に」というニュアンスが文脈によって補完されるが, これと同様に, 時間を表す名詞句でなくとしても, RAE y ASALE (2009) によれば, 例えば, después de tres cervezas という表現は tomar が補われ, 「ビールを3杯飲んだ後に」と解釈される。

En ocasiones se admiten, en esa misma función, sustantivos que no designan inherentemente unidades temporales si el contexto las suple, como en *después de tres cervezas* (donde se sobrentiende ‘tomar’) o *antes del último autobús* (donde se interpreta ‘que pase’).

— RAE y ASALE (2009: 2320)

以上のことを考慮し, 改めて(2) Dentro de 100 metros gire a la derecha. の Dentro de を Después de に交替させると, 例えば, Después de recorrer 100 metros... と文脈によって意味が補完されるため, 問題なく容認される。

ここまで dentro de と después de について先行研究の記述をもとに観察したが, 文脈によっては dentro de と después de は交替可能であるものの, このことはこれら2つの表現の意味および振る舞いがまったく同じであることを意味していない。すなわち, dentro de 100 metros における dentro de が時間的意味を表す場合, 発話時を基準時としてその時点からの期間を de 以下で表すため, その期間を空間的距離の表現と交替させる

ことで「～先」という空間的距離を表すことが可能である。その一方で, después de は de 以下に不定詞や節をしたがえることが可能である点で dentro de と統語的振る舞いが異なる。つまり después de は, de 以下に共起する表現が時間を表す名詞句であっても, 空間的距離を表す名詞句であっても, その時間の経過や距離を進むことを示す表現が明示されることなく文脈によって補完される。そのため, 例えば después de 100 metros であれば「100 メートル進んだ後で」のように, 起点から終点までの移動のニュアンスが表されると思われる。

本章では, a および después de の時間的意味を dentro de と比較しながら確認したが, 次章ではコーパスを用いて, 実際の用例を観察する。

4. CORPES での検証

本章では, RAE のコーパスである Corpus del Español del Siglo XXI (CORPES) を用いて, 用例の観察をおこなう。最初に, dentro de と共起する数詞を伴った表現⁽¹²⁾を検索する。この検索は長縄 (2015) においてもおこなっているが, このときのコーパスには Corpus de referencia del español actual (CREA) を用いたため, 今回は別のコーパスで改めて同様の語句を検索し, dentro de と共起する空間的距離を表す表現の存在を確認する。さらに, dentro de が「～先」を表す場合にこの前置詞句と交替可能であるとされる después de についても同様に, de 以下に空間的距離を伴う用例があるかどうかを観察し, この前置詞句が用いられる文脈を確認する。

(12) 以降, [dentro de + 数詞] と表す。以降に考察する después de に関しても, [después + 数詞] と表現する。

4.1. dentro de + 数詞

まず，[dentro de + 数詞] と共起する名詞を検索する。検索する語句は dentro de とその直後の数詞とし，地域をスペインに限定した⁽¹³⁾。この条件で検索をおこない，[dentro de + 数詞] と共起している名詞を用例の多い語から順に並べ，表 2 にまとめた。

表 2 [dentro de + 数詞] と共起する名詞

名詞	件数
años(s)	513
día(s)	145
semana(s)	116
mes(es)	107
hora(s)	77
minutos(s)	52
その他	113
用例数	1,143

得られた結果を観察すると，dentro de が数詞と共起するときに出現する名詞は時間を表すものがほとんどであり，空間的距離を表す語彙と共起する例は確認されなかった。つまり，dentro de は数詞が伴えば時間的意味として用いられ，dentro de 100 metros のような空間的意味を表す例を時間的意味から派生した意味と定めることは自然であるように思われる。

(13) 具体的な検索条件は以下の通りである。

Forma: dentro de

+Proximidad Clase de palabra: numeral / Distancia 1 Derecha

+Subcorpus Origen: España

4.2. después de + 数詞

続いて、[dentro de + 数詞] と交替可能であるとされる [después de + 数詞] と共起する語句を確認する。検索条件は dentro de の部分を después de に交替させたものを用い、dentro de のときと同様、共起している名詞を件数の多い順に並べ、その結果を表 3 にまとめた。

表 3 [después de + 数詞] と共起する名詞

名詞	件数
años(s)	815
mes(es)	179
día(s)	143
semanas(s)	70
minuto(s)	45
temporada(s)	25
その他	513
用例数	1,790

después de も dentro de と同様に時間を表す名詞と共起する例がほとんどであり、数詞を伴う場合には、概して時間的意味を表すと思われる。ただし、dentro de とは異なり、kilómetros と共起する例が 12 例確認された。

- (10) **Después de 12 kilómetros de conducción temeraria**, el Seat Ibiza, que había golpeado dos kilómetros antes a otro coche sin provocar heridos, colisionó frontalmente con un Renault Safrane, en el que viajaba una pareja con dos niños de cuatro y seis años.

- (11) **Después de veinte kilómetros de carreteras polvorientas,** llegabas a esa especie de oasis en medio de la nada. Pese a todos los esfuerzos, el arranque del campeonato 2006 era tan triste y desolado como el paisaje.

— CORPES 太字は筆者による

(10)および(11)は12例のうちの2例であるが, después de 12 kilómetros de conducción temeraria 「12キロメートルにわたる無謀な運転の後」と después de veinte kilómetros de carreteras polvorientas 「ほこりだらけの街道を20キロメートル進んだ後」は, それぞれ空間的距離と共に起している。先の章で見たようにこれらは単に12キロメートル先あるいは20キロメートル先ということではなく, 明示された距離を移動することが示唆される表現が補完され, después de の時間的意味が維持されているものとして解釈される。しかしながら, de 以下に空間的距離を共に起させ, 文脈によって意味を補完することが可能であるものの, 用例が少ない点に関しては dentro de と同様である。

4.3. dentro de と共に起する他の表現

CORPES では [dentro de + 数詞] と共に起する空間的距離を表す名詞は確認されなかったが, dentro de 100 metros 以外で dentro de が「～先」を表す表現を検索エンジンである Google⁽¹⁴⁾ を用いて検索した。「乗り物に乗った状態である」ことを参考に parada 「バス停」や estación 「駅」を検索語句に指定⁽¹⁵⁾ することで, 「現時点から2つ目の停留所」あるいは「2つ目の駅」などといった表現が dentro de を用いて表すことが可能であるか

(14) <https://www.google.es> [最終アクセス日: 2021年10月20日]

(15) 例えば, “dentro de dos paradas” や “dentro de dos estaciones” といった語句である。

観察した。その結果、先のコーパスでの検索と同様に、例文数は少なかったものの(12)～(14)のような、いずれも「～先に」という空間的意味を表す例が確認された。

(12) Además, **dentro de dos paradas** llegaremos al hospital y una actuación urgente es perfectamente posible⁽¹⁶⁾.

(13) Bajo del autobús **dentro de dos paradas**⁽¹⁷⁾

— Solsona Martínez (2010: 295) 太字は筆者による

(14) A veces es fácil encontrar una estación adaptada para meterte en el metro, pero luego depende de donde estés a ver como sales cerca de tu destino, no vale que te digan, **dentro de tres estaciones** hay un ascensor. Pero es que no entienden que tu vas a un sitio cerca de esa estación, si te tienes que ir tres estaciones más adelante, el metro pierde su sentido⁽¹⁸⁾; ...

(13) は「今乗っているバスが2つ目の停留所で病人に到着すること」、(14) は「2つ先の停留所で下車すること」、そして (15) は「3つ先の駅にエレベーターがあること」が示されている。また、(15) に関しては下線部の *ir tres estaciones más adelante* が *dentro de tres estaciones* を言い換えているものと思われる。

以上、コーパスを用いて *dentro de* が「～先」という空間的意味で用い

(16) https://www.jubicam.org/index.php?menu=documentos&id=116&id_doc=2248&show=1 太字は筆者による。[最終アクセス日：2021年10月20日]

(17) Solsona Martínez, Carmen (2010) “Indicadores de adquisición: los errores en el proceso de aprendizaje de la preposición italiana *tra/fra* por parte de hispanohablantes”, *STVDIVM. Revista de Humanidades*, 16 pp. 287-307.

(18) <https://disgrup.org/diario-de-un-discapacitado-10-guille-egido-en-el-metro> 太字および下線は筆者による。[最終アクセス日：2021年10月20日]

られている例を観察したが、この意味で用いられる dentro de は文法的に容認されるものの、用例数は乏しいことが明らかになった。次章ではこの意味が時間的意味から空間的意味へ拡張する様子を考察する。

5. 時間的意味から空間的意味への拡張

本稿では dentro de の時間的意味と空間的意味に関する考察をおこなっているが、冒頭で述べたように、空間と時間には相関関係が見られ、「時間は空間である」という概念メタファーの存在が確認される。この相関関係について語彙レベルで観察すると Fernández Jaén (2014) が述べるように、例えば前置詞 en は、本来は空間的意味のみを有する語であったが、時間の経過とともに空間から時間へのメタファー的拡張がなされたことで、時間的意味をも有するようになった。

Los sintagmas preposicionales encabezados por la preposición *en* tenían en español antiguo un significado únicamente espacial (*El caballero estaba en su castillo*). Sin embargo, con el transcurso de los años estas estructuras han ido adquiriendo un significado nuevo por la acción de la expansión metafórica espacio > tiempo. De esta manera, estos sintagmas han llegado a adquirir la capacidad de expresar significados temporales (*Vuelvo en diez minutos*).

— Fernández Jaén (2014: 90)

さらに定延（2002）も空間と時間に関して、人間にとっては時間より空間のほうがわかりやすいため、語彙の空間的用法が時間的用法に拡張するのは自然なことであると述べている。

『語彙が空間的用法と時間的用法を持つ場合、(何語にかぎらず)(通時的にも共時的にも) 空間的用法が基本で時間的用法が派生的という傾向がある_A。(そしてこのことは、偶然によるものでなく、認知的動機に基づいている。つまり 人間にとって空間は時間よりわかりやすく基本的なので_B、人間が語彙の空間的用法をもとに、時間的用法を派生させるのは、自然なことである。)]

— 定延 (2002: 184) 原文ママ

定延 (2002) によれば、論の細部に違いはあるものの、下線部 A を支持し、その根拠として下線部 B を提示する研究者が多い。また、引用のかっこ内の内容は主張される場合もされない場合もあるが、「何語にかぎらず」という点と、これまでの引用の内容を考慮すると、スペイン語に関してもこのことは言えそうである。このように定延 (2002) は空間的用法から時間的用法が拡張すると主張する研究者は多いと述べたうえで、この説とは反対である、語彙の時間的用法が基本で空間的用法が派生的と見える現象を (15) や (16) などあげながら指摘している。

(15) さっきレストランがあったけど、あそこはおいしいの？

— 定延 (2002: 187)

(16) あと 5 分したらドライブインがあるから、そこで休もうね

— 定延 (2002: 188)

(15) の「さっき」はさきほどまでレストランがあったが、今はもうないという時間的意味ではなく、「少し前の地点」という空間的意味として解釈されるのが自然である⁽¹⁹⁾。一方で、(16) の「あと 5 分したら」は 5 分間何

(19) 定延 (2002) は以下のように「視野仮説」を持ち出すが、これでは不十分と

もせずにいることを表しているのではなく、5分間移動した結果としてドライブインが見つかるということであり、この表現は空間的意味に分類される。

このような現象が生じていることに対して、定延(2002)は空間一般と個別空間を区別したうえで、見知らぬ個別空間よりはその空間を探索する時間をもとにするほうがわかりやすく基本であるとし、時間的意味から空間的意味への拡張が生じると述べている。

『空間一般がどれほどわかりやすく基本的としても、話し手が或る個別空間を見知っていなければ、その個別空間は話し手にとってわからないものにすぎない。見知らぬ個別空間よりはわかりやすく基本的なので、その個別空間のありさまを語る場合は、その個別空間を探索領域とする探索の時間をもとにして(中略)表現する。』

— 定延(2002: 195)

この定延(2002)の主張は、dentro de が時間的意味から空間的意味へ拡張している根拠というよりはむしろ、この前置詞句がもっぱら時間的意味として用いられる根拠になると思われる。というのも、発話時から先のことを見通すときには空間よりも時間のほうがより確実に表されるためである。この前置詞句は発話時が基準時となり、de 以下で表された期間を経た後にこの表現と共起している動詞で表された行為が実現される。時間軸

し、後の「探索仮説」でその不足を補っている。

『「さっきレストランがあったけど～」の意味とは、「走行中のバスから流れゆく者が異風景を眺める私の視野内に、先刻レストランがあった(つまりつい今しがたバスからレストランが見えた)けど～」というものではないか。時間語彙「さっき」が表しているのは、「少し戻ったところ」という地点ではなく、やはり「先刻」という時点ではないか。(中略)以上の考えを「視野仮説」と仮に呼ぶ。』

上では、時間が発話時からその期間分を必ず「移動」することになるが、行為を実現する人が実際に物理的な移動をしているとは限らない。その一方で、空間の意味で用いられる場合には時間の経過と同じように空間的な移動が断続的におこなわれる必要がある。つまり、時間軸上の「移動」がそのまま空間的移动に置き換えられる必要があり、止まらないことが前提となる。RAEがこの空間の意味を使える条件として「移動している乗り物に乗っているとき」を提示しているのはこのためであると思われ、時間的な意味に比べ文脈が制限される。

これに対して、先に提示したaを用いた(7)および(8)は、定延(2002)が述べる個別空間がはっきりしているため、空間的距離でも時間でも表すことが可能であると思われる。つまり、(7)であれば車と家の間の個別空間、(8)であれば学校と家の間の個別空間が明確である。

(7) El coche está **a dos kilómetros** de mi casa

(8) El colegio para nuestro hijo está **a diez minutos** de casa, el hospital también.

以上のことをふまえると、この dentro de は時間的な意味からより制限のかかった空間的な意味へ拡張しているととらえるのは妥当であると思われる。

6. おわりに

本稿では Dentro de 100 metros gire a la derecha. に見られる dentro de の空間的な意味について考察をおこなった。dentro de は数詞が伴うと概して時間を表す名詞と共起するため、時間的な意味である「～後」として解釈されるが、時間を表す表現の代わりに空間的な距離と共起することで空間的

意味である「～先」が表される。空間的意味から時間的意味が拡張することは通時的に確認されており、メタファー的拡張がおこなわれていることも指摘されている。ただし、この dentro de に関しては、時間的意味から空間的意味へ、つまり、通例とは逆の方向で意味拡張がおこなわれているように見えるため、本稿ではこの空間的意味の考察をおこなった。

RAE やインフォーマントによれば、この用法に文法的誤りはなく、問題なく容認されるものの、コーパスによる検索をおこなうとこのような空間的意味を表す dentro de の例はほとんど確認されなかった。また、dentro de に加えて、después de や a も同じような意味を表し、特に前者は después de 100 metros と問題なく用いることが可能であるが、この2つには大きな統語的相違が見られる。すなわち、después de は dentro de とは異なり de 以下に不定詞や節を導くことが可能であるため、100 metros のような名詞を共起させたとしても、文脈によって「移動」などの意味が補完される。その一方で、dentro de はこのような統語的振る舞いをしないため、この前置詞句は después de と同様のニュアンスが付加されないと考えられる。

この dentro de に観察されるような、時間的意味から空間的意味への意味拡張に関して、日本語の現象ではあるものの、定延 (2002) が議論をおこなっている。そのなかで、空間一般と個別空間を区別したうえで、見知らぬ個別空間よりはその空間を探索する時間をもとにするほうがわかりやすく基本であると述べている。この主張によって dentro de に関して、空間的意味に比べて時間的意味のほうが優位であることが裏付けられていると思われるが、これは発話時を基準としたときに時間のほうが確実に「先」を表すことが可能であるためである。つまり、dentro de cinco minutos は主体がどのような行為をしたとしても必ず5分が経つが、dentro de 100 metros は主体が移動しない限りは表現できない。そのため、発話時の時点で主体は断続的に移動していることが示唆される。こうして、時間的意味

よりも空間的意味のほうが使用範囲は制限され则认为られることから、時間的意味が空間的意味へ拡張しているととらえることが可能であると思われる。

最後に、本稿の考察をもとに、改めて dentro de の空間的意味と時間的意味の分布を表4にまとめた。

表4 dentro, dentro de の空間的意味と時間的意味の分布 (改)

	日本語にあたる表現	空間的意味	時間的意味
dentro	中に	○	×
dentro de	～の中に / ～以内に	○	△
	～先 / ～後に	△	○

表1からの変更点は、dentro de の空間的意味である「～先」と時間的意味である「～以内に」の個所に△を記した点である。この△は意味としては認められるものの、用例数が少ないことを表している。頻度の低い点を反映させると、時間的意味が「～以内に」と用いられる場合も頻度が低いため⁽²⁰⁾、この個所もあわせて△とした。

今後も、dentro de の空間的意味と時間的意味の非対称性に注目しつつ、dentro de が用いられる文に注視しながら、特に「～先に」が用いられる用例を収集し、その振る舞いを観察するとともに、時間的意味から空間的意味へ拡張しているような他の表現の収集および考察をおこなう。

参考文献

- Bosque, Ignacio y Violeta Demonte (dirs.) (1999) *Gramática descriptiva de la lengua española*, 3vols., Madrid, Espasa-Calpe.
 Cabezas Holgado, Emilio (2015) *La preposición I*, Arco Libros.

(20) dentro de の時間的意味「～以内に」の頻度が低いことについては長縄 (2015) において論じている。

- Cuenca, María Josep y Joseph Hilferty (1999) *Introducción a la lingüística cognitiva*, Ariel.
- DRAE: Real Academia Española (2014) *Diccionario de la lengua española 23ª edición*, Espasa-Calpe.
- Fernández Jaén, Jorge (2014) *Principios fundamentales de semántica histórica*, Arco Libros.
- Lakoff, George & Mark Johnson (1980) *Metaphors We Lived By*, University of Chicago Press.
- Pavón Lucero, M.^a Victoria (1999) *Clases de partículas: preposición, conjunción y adverbio*, en Bosque y Demonte (1999) pp. 565-655.
- RAE y ASALE: Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española (2009) *Nueva gramática de la lengua española*, Espasa-Calpe.
- Salamanca: Gutiérrez Cuadrado, Juan (dir.) (1996) *Salamanca: Diccionario de la lengua española*, Santillana.
- 定延利之 (2002) 「時間から空間へ? 〈空間的分布を表す時間語彙〉をめぐって」
生越直樹 (編) 『対照言語学』 東京大学出版会: pp. 183-215.
- 長縄祐弥 (2015) 「時間表現と共起する en と dentro de に関する一考察」
Estudios Hispánicos 39: 93-120.
- 山田善郎他 (1995) 『中級スペイン文法』 白水社。

資料体

- REAL ACADEMIA ESPAÑOLA: Banco de datos (CORPES XXI) [en línea]
Corpus del Español del Siglo XXI (CORPES) <<http://www.rae.es>> [20/X/2021]
- REAL ACADEMIA ESPAÑOLA: Banco de datos (CREA) [en línea] Corpus de referencia del español actual. <<http://www.rae.es>> [20/X/2021]